

## 平成26年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業について

### 1. 事業の趣旨

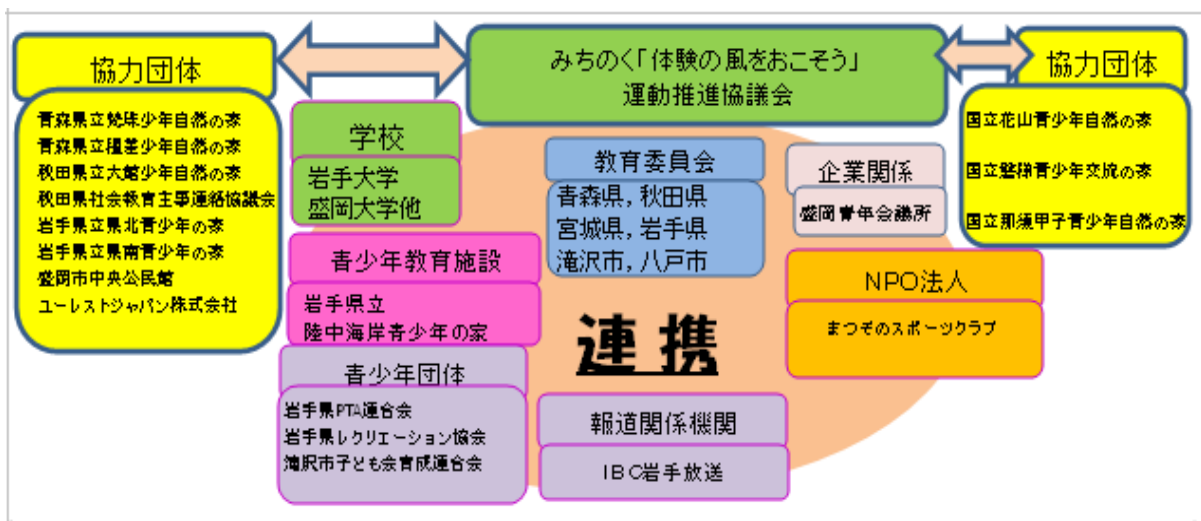
近年、社会が豊かで便利になる中で、子供たちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している。このため、東北地区において子供たちに自然体験や生活体験などの体験活動を提供するとともに、関係機関と連携を図りながら体験活動を推進する機運を高める取組などを実施し、「体験の風をおこそう」運動を普及、推進することを目的としている。

当交流の家では、外部有識者で組織する「みちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会」を組織し、独立行政法人国立青少年教育振興機構から本事業を受託し実施した。

### 2. 受託期間

平成26年10月1日～平成27年3月31日

### 3. 実施体制



### 4. 事業概要

#### 1. 「体験の風をおこそう」運動を普及・啓発する取組

- (1) 岩手県、青森県、秋田県、宮城県全自治体（133）を直接訪問し、「体験の風をおこそう」運動の趣旨を説明するとともに幟旗の設置を依頼した。
- (2) 「体験の風をおこそう」運動推進月間における「事業エントリー」と「子ども体験遊びリンピック」の実施を依頼した。平成26年度エントリー数「体験の風をおこそう推進月間事業」20件、「子ども体験遊びリンピック」5件。
- (3) 「体験の風をおこそう」運動推進委員会構成団体の地方組織等の事業に次の事項を依頼した。
  - ① 『「体験の風をおこそう」運動協賛事業』の冠を付すこと。
  - ② 事業チラシに「体験の風をおこそう」運動のロゴ等を印刷すること。

## 2. 子供たちが自然体験や生活体験など直接体験する機会を提供する取組

### ○ 親子で楽しむ宿泊・自然体験 in テンパーク～冬季遊びリンピック in テンパーク～

期日：平成27年2月21日(土)・22日(日) 1泊2日

対象：岩手県内在住の親子（久慈市，宮古市，盛岡市，滝沢市，八幡平市，広野町，岩泉町，山田町，岩手町，野田村，普代村）53家族166名の参加で，岩手山青少年交流の家の活動プログラムと滝沢市埋蔵文化センターの勾玉づくりから，選択制で多くの体験活動を提供することができた。

## 3. 保護者や指導者が子供たちの体験活動の重要性について理解を促進する取組

(1) 本運動を推進する事業への本協議会委員等の派遣し，体験活動の重要性を説明した。

- ① 岩手県青少年健全育成県民会議「青少年育成セミナー」平成27年2月27日(木)
- ② 盛岡市PTA連合会平成26年10月16日(火)
- ③ 盛岡市玉山区社会福祉協議会「玉山区児童館職員研修会」  
平成26年10月14日(火)
- ④ 盛岡市学童保育連絡協議会「盛岡市学童保育連絡協議会指導員部会」  
平成26年12月4日(木)

(2) 公民館，公立青少年教育施設等の事業に参加し，体験活動の重要性を説明した。

- ① 盛岡市中央公民館「わくわく盛岡チャレンジクラブ」11月24日(月)
- ② 秋田県立大館自然の家「秋田わくわく探検隊事業」11月15日(土)～16日(日)
- ③ 岩手県立県北青少年の家，岩手県立県南青少年の家，岩手県立陸中海岸青少年の家施設連携事業「親子deチャレンジ」11月15日(土)～16日(日)
- ④ 青森県立種差少年自然の家「たねさしワールド事業・つくって新発見・エンジョイ！雪遊び・こども大作戦」1月31日(土)～2月1日(日)
- ⑤ 青森県立梵珠少年自然の家「ファミリー防災キャンプ」  
11月8日(土)～11月9日(日)
- ⑥ あきた白神体験センター「あきた白神わんぱく塾」  
12月26日(金)～12月28日(日)
- ⑦ 国立磐梯青少年交流の家「磐梯フェスタ事業」10月26日(日)

(3) 本運動のロゴマーク，岩手山青少年交流の家の独自のクリアファイルとメモ張を作成し，教育事業参加者や本運動推進のため訪問した自治体へ配布した。

## 4. その他，「体験の風をおこそう」運動を推進するための取組

(1) 公民館，公立青少年教育施設等が本運動を推進するための事業（講演会，シンポジウム，スポーツ大会等）等を共催もしくは協力して実施した事業(3(2)①～⑥)，その経費の一部を負担した。

(2) 「早寝早起き朝ごはん」国民運動に関する普及・啓発事業については，教育事業「テンちゃん一家の一週間」で参加児童に徹底したほか，事業参加者や研修支援団体に普及した。

## 5. 事業の成果

1 岩手県、青森県、秋田県、宮城県全自治体133市町村を直接訪問し、「体験の風をおこそう」運動の趣旨を説明するとともに幟旗の設置を依頼したことにより、北東北4県の「体験の風をおこそう」運動に対するより一層の理解を深めることができた。

併せて、当所周辺の学校や施設を直接訪問し「体験の風をおこそう」運動の趣旨を説明するとともに幟旗の設置を依頼したことにより、近隣の住民にも「体験の風をおこそう」運動を推進することができた。

2 親子で楽しむ宿泊・自然体験 in テンパークを2月21日(土)～22日(日)の1泊2日で行ったことにより、岩手県内在住の親子(久慈市、宮古市、盛岡市、滝沢市、八幡平市、広野町、岩泉町、山田町、岩手町、野田村、普代村)53家族166名の親子に冬の岩手山青少年交流の家の体験を提供することができた。県内の沿岸の親子と当施設周辺の親子が体験をとおして交流を深め思いで多い2日間となった。

3 岩手県青少年健全育成県民会議等の本運動を推進する団体やその団体が行う事業に出向き、保護者や指導者に子供たちの体験活動の重要性について説明を行ったことにより、団体の下部組織まで「体験の風をおこそう」運動を推進することができた。

4 公民館や公立青少年教育施設等におけるおける事業に連携して参加することにより、事業参加者やその地域に「体験の風をおこそう」運動のさらなる普及につながった。

## 6. 今後の展開

### 1 普及・啓発の強化

今年度は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県の全市町村教育委員会への普及・啓発活動をおこなったが、次年度は、各地域の住民への情報発信の基地である「公民館」への普及・啓発を行い、北東北地域での更なる普及・啓発を推進する。

### 2 連携協力の拡大による多様な体験の場の提供

各地域の青少年教育施設等との交流チャンネルを増やしていく必要がある。今年度の取組で得た各施設とのネットワークを活かすと共に、新たな公立青少年教育施設、高等教育機関、児童養護施設等との連携を図り、「体験の風をおこそう」運動の社会での認知度を高める多様な体験の場を提供していく。

みちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会委員一覧

平成26年度

氏 名	役 職 名 等
大石泰夫 (会長)	盛岡大学 文学部 教授
熊谷雅英 (副会長)	滝沢市教育委員会 教育長
浅沼道成	岩手大学 人文社会科学部 教授 NPO法人まつぞのスポーツクラブ理事長
石川正悦	岩手県立盛岡農業高等学校 校長
伊藤博章	八戸市教育委員会 教育長
大泉勝嗣	一般社団法人盛岡青年会議所 理事長
鎚洋高	一般社団法人岩手県PTA連合会 副会長
菊池清太	岩手県立陸中海岸青少年の家 所長
主濱恵悦	滝沢市子ども会育成連合会 会長
白木貞彦	滝沢市立一本木小学校 校長
神初見	(株)IBC岩手放送 取締役放送本部長
菅原正弘	盛岡市立河南中学校 校長 (※岩手県中学校長会常任理事)
中野聖子	青森県教育庁 生涯学習課長
平川祐作	秋田県教育庁 生涯学習課長
松下洋介	岩手県教育委員会 生涯学習文化課 総括課長
三浦正之	宮城県教育庁 生涯学習課長
横澤繁	岩手県レクリエーション協会 理事長
三上智 (事務局長)	国立岩手山青少年交流の家 所長